

皆さんお久しぶりです。行事週間後の中間も終わり少し落ち着いた時期になっていると思います。私はアメリカに来てから、留学期間の3分の1の100日が経ち、時の流れの速さを感じています。

<精神面>

この1ヶ月はアメリカ人と日本人のパーソナリティのカルチャーショックに苦しみました。アメリカ人は狩猟民族であり、日本人は農耕民族であったという歴史的背景から、アメリカではいかに自分が生き残っていくかということが問われます。そのため、何か意見を主張しようとしても自分の意見を押し通そうとします。今まで、空気を読んだり、和を大切にしたりといった配慮がある世界でしか生活していなかったため、自分さえ良ければ、自分さえ生き残ればいいといった言動が日本人である私にとって精神的に辛く感じました。また、多民族国家であるが故に相手の言っていることを明確に理解する必要があり、5W1Hをととても大切にします。そのため、「空気を読む、察する」ということはアメリカの文化にはありません。私にとって、彼らの態度がとても無遠慮のように思えてしまいました。しかし、相手側には全く悪気はなく、これが文化だということがわかりました。もちろん、全てのアメリカ人がそうではありません。アメリカにも日本人のように空気を読んで行動したりできるタイプの人ももちろんいますが、「the アメリカ人」の方はかなり自己主張が激しいです。一方で、このコミュニケーションスタイルだからこそ、アメリカは急激に発展を遂げ、世界を引っ張っていく国の一つとして様々な人の活躍の舞台になっています。そのため、私は今、アメリカにいるため文化を受け入れて適応する必要があります。新しい文化を受け入れず、ただ自分の殻に閉じこもるのでは留学した意味がありません。「郷に入っては郷に従え」という言葉は非常に本質を捉えている言葉です。つまり、例えば、理不尽な状況下に置かれたとしても、そこで立ち止まるのではなく、原因を探りながら一旦違いを受け入れてみるということで異文化適応のプロセスの第一段階に達することができるということです。自分の殻を破り、あくまで自分のパーソナリティなどを変えるのではなく、もう一つの武器をつくるつもりで新しい文化に適応していくことは留学を通して得られる精神的な成長につながると感じました。

<学校生活>

3ヶ月が経ち、先生の言っていることや友達との会話によりやく慣れてきました。アメリカに来た直後は、友達の言っていることは本当にわからなかったです。理由としてはアメリカの高校生生の流行や共通の話題が少なく、英語は聞き取れても内容が入ってこないということが多々あったからです。今ではかなり理解できるようになり、学校生活がとても充実しています。

最近の大きなイベントはホームカミングでした。ホームカミングとはダンスパーティーのことで女の子はカジュアルなドレスを着て、男の子はスーツなどを着て踊ったり喋ったりします。学校の体育館で開催され、DJの方をよんで爆音の中、みんなで踊ります。ダンスといっても小石川の体育祭で前期生が披露するような踊りが決められたものではなく、自由に音楽にのせて体を動かしてダンスを楽しむといった感じです。ダンスが疲れたら友達と喋ったり、ゲームコーナーでゲームをしたり、カフェテリアでお菓子を食ったりします。夕方7時から11時までであったので帰ったあとは非常に疲れていました。ホームカミングの前には友達と一緒にご飯を食べて、ドレスアップやメイクアップを一緒にしました！私はStudent Governmentの生徒なので、ホームカミングの準備をする必要があります。時には夜8時まで残って作業しましたが、それもいい思い出です。人生で、最初で最後のホームカミングは今まで感じたことがないぐらい刺激的で楽しかったです



K-pop クラブの友達とホームカミングで

<文化面>

私は秋休みに小旅行をたくさんしました。その中で最も思い出深かったのはグランドキャニオンと教会に行ったことです。

グランドキャニオンはアリゾナ州に位置する峡谷で、赤い岩の断層が何百万年にもおよぶその地の歴史を物語っています。幅が平均で 10 マイル、深さが 1 マイル、長さが 277 マイルという壮大な規模を誇っており、コロラド高原が長年のコロラド川による浸食作用で削りだされた地形です。今までグランドキャニオンの存在は知っていたものの、地理の教科書でしか見たことがないものでした。今回の旅行で生まれて初めてグランドキャニオンを見たときはあまりの迫力で感動して泣いてしまいました。本物を見ることができてうれしかった喜びと自然の生み出した力強い造形美を感じて涙が止まりませんでした！本当に貴重な経験ができて嬉しかったです



教会は今までキリスト教の教会に入ったことがなく初めての経験だったので非常に興味深かったです。この教会の外観が中東の建物を連想させるような白を基調としていて美しかったです。お寺とはまた違った雰囲気でもとても新鮮でした。



また 10 月 31 日には皆さんおなじみのハロウィンがありました！日本でハロウィンといえば渋谷でコスプレをして楽しむというイメージがありましたが、アメリカは本場なのでかなり違います(笑)ハロウィンとは古代ケルト民族のデュルイド教で行われていたサウィン祭が起源といわれています。古代ケルトでは 11 月 1 日が新年とされ大晦日にあたる 10 月 31 日の夜に先祖の霊が家族に会いに戻ってくると信じられていました。しかし、悪霊も一緒にやって来て、作物に悪い影響を与えたり、子供をさらったり、現世の人間たちに悪いことをすると考えられていました。そこで人々は悪霊を驚かせて追い払うことを思いつき、仮面をかぶったり、仮装をしたり、魔除けの焚火を行ったと伝えられています。私は、ゾンビのメイクをしてハロウィンをお祝いしました。学校にはハロウィンコスチュームコンテストがあり、最も独創的で面白かつ怖い仮装をした人が優勝できるというものでとても楽しかったです。夜ご飯の後にはTrick or Treat に行きました！とんでもない量のお菓子をもらい驚きました。どこの家もハロウィンのデコレーションがすごく、初めての経験だったので非常に面白かったです！



Stugo の友達と



ハロウィンコスチュームコンテストの様子

今回はこの辺で終わりにしたいと思います。それではまた！ See you next month:)

吉田